

教育委員会だより

第1号

益田市教育委員会より 平成27年4月17日発行

児童全員で銭太鼓の発表をしました！



中西小学校内田分校の閉校式 H27.3.22

新教育委員会制度の施行

教育長 村川 修

今年度から新教育委員会制度が施行になり、教育委員長と教育長の一本化、市長の主宰による総合教育会議（市長と教育委員会がメンバー）、その会議での「教育行政の大綱」の策定など大きな改正となりました。

益田市教育委員会は、めざす子ども像として「ふるさとを愛情をもって語り、地球的視野に立って社会貢献する自立した子ども」の育成を目指して取り組んでいます。

益田市には長く培われた歴史と文化と伝統が受け継がれています。自分の生まれ育ったまち「益田」を学び、伝承されてきたものやそれを受け継いだ先人の営みを学び感謝することで、「益田」に対する愛着と誇りをもつ

ことが、心豊かな人間形成と「益田」で学んだという大切な心の醸成につながっていきます。

現在、学力向上やふるさと教育などの教育課題と、幼児期から小中の一貫した教育や学校・家庭・地域社会が連携した子育て環境を目指す「つろうて子育てプロジェクト」事業など望ましい教育環境づくりに取り組んでいます。

また、益田市として策定を進める「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の大きな視点の一つである「人づくり」の目指す「明日の益田を担う子ども」の育成は、教育委員会のめざす子ども像と一致しているところであり、これまで市長部局との連携を図ってまいりました

が、このたびの教育委員会制度改革の目的は、急速に変化する社会情勢や時代の要請に対して、的確に答えていくための制度改革であり、市長部局と教育委員会が一層の連携を図って課題に取り組んでいくことが重要であると考えています。



目次

表紙（学校紹介）	1 P
教育長寄稿	2 P
教育情報	3 P
カラフル給食タイム	4 P
寄付、寄贈のお礼	

中西小学校 3・4年生

中西小学校の3年生と内田校舎の4年生は、社会科の「かわつてきた人々のくらし」の学習で益田民俗資料館に見学に行きました。

はじめに、担当の方のお話を聞きました。

「はかるもの」として見せていただいた一斗枘や秤は木でできており立派で、時代と風格を感じさせられました。



益田民俗資料館の見学

「あかり」として紹介していただいたあんどんは、部屋を暗くして、実際に火を灯して見ましたので、昔の夜の暗さと静けさを感じることができました。

後半は、いろいろな道具について自由に見学させてもらいました。

教科書やビデオでは分からない本物の道具にふれることができて、子どもたちにとつて昔のくらしを実感として感じ取れる貴重な体験ができました。

安田小学校 3年生

安田小学校の3年生は、社会科の「かわつてきた人々のくらし」の学習で、益田市立歴史民俗資料館に見学に行きました。明治、大正、昭和と使われてきた、たくさんの道具を見せていただきました。

行灯やカンテラに火をつけて明るさの違いを体験させ



益田民俗資料館の見学



てもらったり、昔のアイロンの使い方を教えてもらったりしました。子どもたちは、とても興味深そうに道具を見ながら、館長さんの話を熱心に聞いていました。今の道具と随分違っていることに驚いていました。

平成27年4月1日付人事異動による新任職員を紹介いたします。



・ 教育部長 川原 敏之①
・ 教育総務課

課長 島田 博②
課長補佐 宮藤 誠③
主事 岩本 純平④

・ 学校給食共同調理場
主幹 藤本 美香⑤
・ 学校教育課

課長 澤江 幸実⑥
課長補佐 浅野 隆司⑦
主任 三浦 千尋⑧

・ 教育改革推進室
派遣指導主事
兼子 史寛⑨
中尾 瑞紀⑩

・ 社会教育課
派遣社会教育主事
谷上 元織⑪

副主任主事
齋藤 一真⑫
主事 青木 悠太⑬

・ 文化財課
主事 小川 遼⑭

・ 匹見分室
主幹 桐木 俊始⑮

よろしくお願ひします。

2015つろうて子育てプロジェクト

「子縁」による新たな「地縁」・「志縁」づくり

教育委員会では昨年度に引き続き、つろうて子育てプロジェクトを推進し、学校・家庭・地域が一体とな

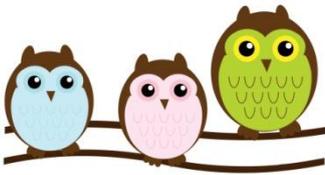
って子どもの育ちを支えるための体制作りを進めていきます。今年度は、新たに「子縁」による新たな「地縁」・「志縁」づくりとサブタイトルをつけました。これは、このプロジェクトの推進が、子どものためだけではなく、かかわる大人にとっても意義のあることであることを再確認するためです。

都会地では、子どもの声が騒音として認識され、運動会で聞こえる声援も煩わしいものと感じる人もいます。しかし、益田市では子どものために自分の力を活かしたい、協力したいという大人がまだまだたくさんいます。子どもを

中心に据えながら、地域の大人のかかわりを増やしていくことで、子どもたちの体験は豊かになります。

また、大人は自分の学びを活かすことで生きがいを感じ元氣になります。そして、新しい大人同士のつながりが生まれ、希薄になりかけている人間関係も再構築することができま

す。このプロジェクトにかかわるすべての人が、「益田つていいな!」、「住んでよかったな!」と感じることができるよう、取り組みを進めていきたいと思いま



中国電力の発電所が国登録有形文化財になりました

昨年の11月に国の文化審議会が国登録有形文化財にするよう答申した、中国電力株式会社の豊川・澄川・匹見発電所本館が、平成27年3月26日付けの官報告示によって正式に国登録有形文化財(建造物)になりました。

これにより市内の国登録有形文化財(建造物)は、市立歴史民俗資料館(本町)、櫛代賀姫神社本殿(久城町)と合わせて5件となりました。

文化財登録制度は、平成8年に施行された文化財保護法の一部改正により創設されたもので、消滅する危険性がある近代以降の貴重な建物を、ゆるやかな規制によって将来に守り伝えていくものです。美保関燈台(島根県松江市)や東京タワー(東京都港区)なども国登録有形文化財になっています。

なお、島根県内での水力発電所の登録は、今回が初めてとなります。

○豊川発電所本館(猪木谷町)

1928(昭和3)年建設。鉄筋コンクリート造で、石造風に目地切りした洋風建築の外観が特徴です。

○澄川発電所本館(匹見町)

1943(昭和18)年建設。鉄筋コンクリート造で、装飾を排した直線的な構成のモダニズム建築の外観を持っています。

○匹見発電所本館(匹見町)

1928(昭和3)年建設。コンクリートブロック造で、教会堂を思わせる洋風の建築意匠でまとめられています。



匹見発電所本館



澄川発電所本館



豊川発電所本館

1年間を振り返り、新たに学ぶ 新年度のスタートに向けて

月のテーマと献立が連動!

益田市の学校給食では月ごとにテーマを設けその趣旨を具現化させる献立となるよう心がけています。テーマは「食」全般に及び食育の観点も網羅したものにしていきますが、生産者の皆さんや調理に携わる職員の紹介なども行いながら、献立を作成する栄養士の考えや意図が少しでも伝えられるよう配慮しています。

このように1年間をスパンとし取り組んできましたが、3月のテーマは「1年間を振り返ろう」と、集大成ともいえる内容にしました。これまで設定した目標・目的が習得できるよう進めてきた点を、児童・生徒も感じられるようにと献立作成にも気を配っています。

このうち3月9日は「益田の食育の日・卒業お祝い献立」とし、児童・生徒の興味を引き出しながらも、年間通

じて投げかけてきた色々なテーマを盛り込んだものにしてしました。益田産の食材を使うことで益田の豊富な食資源を認識してもらおうと共に、栄養価が高く噛み応えもある「切り干し大根」を使用することで、「栄養面」「咀嚼」を意識させ、また「保存食」として日本の食文化の中で伝えられてきた歴史を振り返ることもできる、このような多面的な効果を献立に付加させていきます。

生産者とのつながりも大切!

さらに重きを置いているのが「生産者とのつながり」です。給食を児童・生徒の元に届けるには多くの人の力が必ずやりますが、食材を生産・加工する方々との接点を持ちにくい面があり、若干距離感が生じる傾向にあります。3月の給食だよりには前述の「切り干し大根」の生産者の方を紹介し、詳細な作業工程、クオリティーを向上させる為の留意点や工夫等を記載しまし

★3月9日の献立
ごはん、手まりみそ汁、牛乳
益田産牛肉と切り干し大根の炒め煮
お祝いいちごゼリー



献立作成 斎藤 絵里

た。また、児童・生徒へのメッセージもお願いし、「切り干し大根」を食べてもらう上でどのような気持ちを含めて生産しているか、という思いを寄せていただきました。4月は新たな1年のスタートです。学校給食に内包される教育的効果・多大な可能性を最大限活用・追求し、児童・生徒の「食」と向き合っていく、そのような決意を持って1年間邁進してまいります。

奇贈、寄付のお礼

図書館へ図書寄贈

- ・益田木鶏クラブ 様
- ・島根県教職員互助会 様
- ・市内小中学校へ図書寄贈
- ・津和野観光協会 様

益田市奨学金へ寄付

- ・島根県合唱連盟益田支部 様
- ・高津町 尾庭 昌喜 様
- ・社会福祉法人 梅寿会 様
- ・益田興産株式会社 様
- ・須子町 故 尾木 十二郎 様
- ・徳栄建設災害防止協議会 様
- ・市内 匿名 様

益田市内新1年生へランドセルカバー寄贈

- ・益田あけぼのライオンズクラブ 様
- ・学校図書購入費、市内6中学校へ管楽器寄贈
- ・益田あけぼのライオンズクラブ 様



ランドセルカバーの寄贈



管楽器の寄贈